

～ All for one, One for all. ～

はじめに神は天と地とを創造された。地は形なく、むなしく、やみが淵のおもてにあり、神の霊が水のおもてをおおっていた。神は「光あれ」と言われた。すると光があった。神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた。神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。夕となり、また朝となった。第一日である。

創世記 第一章 一節～五節



光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 225 号 —

2024 年 1 月 1 日発行



昨年の全国障害者スポーツ鹿児島大会で、金・銀メダルを獲得した利用者

新年あけまして
おめでとうございます

旧年中は当法人の社会福祉事業に対します格別なるご支援に、深く感謝致しております。

長きにわたり私たちの生活に大きな影響をもたらした新型コロナウイルス感染症の五類感染症への移行に伴い、世間では急速に以前の生活が戻りつつあるようです。しかし東京光の家では、対策の手を大きく緩めることなく、感染対策、定期的な検査等は継続したまま、緩やかにコロナ前の生活に戻して行く取り組みを行っています。

利用者の皆さんに引き続き希望や喜びのある生活を送って頂くため、私たちは努力を続けて参りたいと思っております。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和六年 元旦

社会福祉法人 東京光の家

役・職員一同

『東京光の家』に、ご縁を頂いて

東京光の家の愛のサウンド後援会 林良健



懸命に取り組んでおられる姿に感動致しました。

特に、盲重複障害者の自立支援を念頭に「勇気」と「希望」と「感動」を、地域の皆様に伝えていかれる諸活動には、常に感心しております。

私は、三十四年間企業研修を担当し、同時に生涯学習「人々の心の支え、生き方の拠り所としての『生活の規範』」を学んでいました。

二〇一二年七月に、光バンドの後援会の一員として、少しでもお役に立てれば…との思いで、後援活動に参画させて頂くことになりました。

私の義兄が牧師でしたので、キリスト教精神に基づいて創立された視覚障害者総合福祉施設、社会福祉法人東京光の家の活動には、関心を持っていました。

二〇一二年九月二十九日の光バンド定期演奏会「愛のサウンドフェスティバル」から、お手伝いさせて頂きました。

自らの障害を乗り越えて一生

仕事をしたい…!」との思いで仕事に取り組まれていらっしゃる姿そのままを感じて、素晴らしいと思っていました。

二〇一九年二月二十八日とよだ市民ギャラリーでの光の家の利用者の方々が日々製作した芸術、工芸作品を展示する「第二十二回手さぐりの作品展」は、「旅」をテーマに旅行先での体験を基に制作された作品を、初めて拝見致しました。その時の「衝撃」は、今でも忘れません!

その時思わず、係の方に『この作品の制作者は本当に、全盲の方ですか?』とお聞きしてしまいました。このような素晴らしい「芸術作品」は、もっと多くの方々に見て頂かなければ勿体ない!…と、私の勝手な思いで、とよだ市民ギャラリーを後にし、すぐ多摩平の森イオンモールのゼネラルマネージャーと直接お会いして「手さぐり展」の話をしていました。(事前に、理事長に全くお話もせず)即、ゼネラルマネージャーに、東京

光の家の「手さぐりの作品展」を見て頂きイオンホールで実施した場合の費用の点まで検討させて頂きました。

この「手さぐりの作品展」を施設単独の作品発表会ではなく法人全体の行事とする。日野市民への認知度を高め、市の行事にしたい…

このような思いで、創立百周年記念「第二十三回手さぐりの作品展」から、待望のイオンホールで開催することになりましたが、チラシに後援団体がなかったため、日野市・日野市教育委員会・日野市社会福祉協議会・日野ニュース社の後援手続きを済ませてチラシに入れ、日野市小学校全校に配布(九五〇〇名)しました。

「手さぐりの作品展」をよりお客様目線に立って、入口、陳列、レイアウト、POPを改善して、より芸術性を高め格調高く…を目標に「第二十六回手さぐりの作品展」は、ほぼ満足のいく展覧会になったと思います。



第 1 部「礼拝」月本先生講話

世界中で以前は当たり前であった日常が徐々に戻りつつある中、今年も光の家のクリスマス



第 2 部「会食」クリスマス料理

第二部の会食。今年も食事課の努力により、豪華なメニューが準備されました。四年ぶりに法

が開催されました
第一部礼拝は、月本昭男先生より「サンタクロースはいるのでしようか」と題して記念講演を頂きました。サンタクロースの存在を問う少女への答えをヒントに、日々神様からの救いという贈り物を得ている私たち自身がサントとなり、必要とされる場所に心のこもった贈り物をする事の意義を、温かい語りの中で伝えて頂きました。



第 2 部「会食」講堂

人全施設の利用者・職員が合同で集えた事もあり、笑顔溢れる食事の席となりました。
第三部祝会。最初に光の家神愛園による演劇『主に導かれた一年に感謝して』が配信されました。コロナ禍を経た日々の生活の中で感じる神様への感謝を語った朗読劇は、静かな感動を呼びました。次いでこの数年間、モートで発表してきた聖歌隊が、四十二名で舞台上がり、四年ぶりに生の力ある歌声を響き渡らせ、大きな拍手を受けました。
イエス・キリストが誕生した



第 3 部「祝会」神愛園の演劇(録画)・講堂



第 3 部「祝会」聖歌隊

地で紛争が続く中、光の家では平和な時を与えられクリスマスをお祝い事ができました事に感謝致します。
クリスマス委員長 塚田光子

就労ホーム

日帰り旅行

日時：令和五年十一月二日(木)
行き先：富士急ハイランド

今年度も就労ホームは、遊園地を行先を選択し、バスと施設車両に分乗して富士山の麓まで足を延ばしました。

人数の増えた就労ホームの外出行事では、非常勤の職員の方々の協力が必要で、お声を掛けると、皆さん楽しみにしてくださり、一緒に行ってくださいました。普段は一階二階と分かれて作業をしているため、なかなか接点のない方ともたくさん話をする事ができ、お互いを知るよい機会となりました。



ボートに乗ってハイチーズ!!



高いところ楽しい!!

今回の行先も、利用者の皆さんから長年リクエストが出ていた場所でありました。しかし、いざ現地に着けると、なんと遊園地の売りである絶叫系アトラクションには誰も乗らないという珍事件もありましたが、とても温かく、気持ちのいい天気の中、自分たちの乗りたい物にたくさん乗り、ほんのひと時ではありましたが、仕事の事などを忘れて、皆で楽しみ、気分転換もでき、皆さんの笑顔が弾けた一日でした。

栄光園

日帰り旅行

日時：令和五年十一月八日(水)
行き先：東京スカイツリー方面

メインをスカイツリーの見学として、ホテルでのbuffet、味も津々です。海老の尻尾を骨格の視覚がある方は、すみだ水族館も楽しんできました。今回車いす利用の利用者もいたため、バスはリフト付きの車輛を手配。首都高を経由し、浅草ビューホテルへ。こちらではランチbuffetをおなかいっぱい楽しんだ後、スカイツリーの展望デッキなどを散策。秋晴れのさわやかな日でもあり、気分も上がってきます。さて次はお楽しみの食品サンプルを実際に作る体験です。今回のお題、なんと海老天!あの複雑な衣のディテールをどう再現するのか、皆さん興奮して再現するの、皆さん興味津々です。海老の尻尾を骨格にして、湯煎で温めた素材を散らすように、まぶしていくと...これが見事に色艶姿とも、もう本物にしか見えない仕上がりに。大変面白い体験となりました。

他にも一部メンバーは、併設されている、すみだ水族館で色鮮やかな魚の姿を楽しんだりしつつ、バスはもう帰途へ。宿泊はしませんが、次の作業への意欲も高まり、とても充実した行事となりました。



スカイツリーと3ショット!!!



初めて食品サンプル作りました♪



目隠しして黒ひげ危機一髪！



点字体験をして頂きました♪



豊田駅の駅員の皆さんと合同の啓発活動



イオンモールに展示された利用者作業作品

日野市で活動する市民団体や個人で活動している方などの団体が参加しています。アイマスクをしてオセロなどのゲームをするのがお子さんたちに大人気でした。

十二月に障害者週間があり、障害者理解の啓発活動として、多摩平イオンのホールで市内の障害者事業所が集まってイベントを十二月三日に開催しました。

田駅での「声かけサポート運動」を今年も行い、利用者の皆さんが実際声を出して、お願いをする活動です。駅員さんも多く参加されて熱心さを感じました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 11 住み続けられるまちづくりを

光の家SDGs活動
「住み続けられるまちづくりを」

まじづくり市民フェア

令和五年十月十五日(日)

場所・日野市民の森ふれあいホール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 10 人や国の不平等をなくそう

光の家SDGs活動
「人や国の不平等をなくそう」

障害者週間イベント

令和五年十二月三日(日)

東京光の家では、「SDGs活動室」が設置され、地域に向けた貢献活動や障害者への理解・啓発活動を行い、障害者も健常者も共に生きる共生社会の実現を目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 10 人や国の不平等をなくそう

光の家SDGs活動
「人や国の不平等をなくそう」

地域のイベントで
みんないっしょにSDGs活動

パラスポーツのボッチャやブラインドサッカーの体験コーナーなどがあって多くの来場者がありました。光の家では無料マッサージが大盛況でした。点字体験やリングメモづくりの体験もしてもらいました。高橋正秋さんと長井啓子さんのコンビでの歌謡ショーも人気で新たなファンを掴みました。新生園で製作している作品を、市役所や多摩平イオン内にも展示していただきました。また、豊田駅での「声かけサポート運動」を今年も行い、利用者の皆さんが実際声を出して、お願いをする活動です。駅員さんも多く参加されて熱心さを感じました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 10 人や国の不平等をなくそう

光の家SDGs活動
「人や国の不平等をなくそう」

たきび祭

令和五年十二月九日(土)

場所・旭が丘中央公園



たきび祭のオープニングで演奏を披露する新生園のバンド「ひまわり」

このようなSDGs活動を継続していくことで障害者に対する理解・啓発活動を行い、障害者も健常者を共に生きる共生社会の実現を目指していきたいです。

利用者の声 新年の抱負



新生園
元気に
過ごしたいです。

佐生 菜穂子

私の来年の抱負は、手芸作業で組み紐を頑張りたいです。良い作品を作りたいです。

あとはコロナの法律が変わったので、感染症対策をして職員とイオンや八王子に外出をしたいです。美味しい物を買って、好きな音楽を聴きながら食べます。

これからも病気やケガをしないで、元気に過ごしたいです。



ぶどう狩り体験をしました♪

栄光園
たくさん仕事を
したいです

梅原 直美

私は今年度、新生園から栄光園に移ってきました。今は3係に所属しています。光の家で出た用紙を仕分けたり、リサイクルの作業をやっています。今年はずっともつと沢山の仕事ができるように頑張りたいです。



紙製品の作業をする梅原さん

神愛園
健康第一で
頑張ります

北原 理子

私は一年ほど前に足を骨折をしてしまい大変な思いをしました。生きている限りは仕事が出来ないとつまらないと思っています。その為にも健康に気をつけて、頭が動く限りは作業を頑張りたいと思っています。また、新しく始まった一〇〇プロ（目指せ一〇〇歳プロジェクト）などを通して歩く機会も増やして体力を付けて健康に過ごしたいと思っています。



食堂でティータイムを楽しむ北原さん

就労ホーム
着実に一歩ずつ
金重 そよか

私は昨年二十歳になりました。カンでは、下膳やお盆拭きなどの仕事に取り組んでいます。

二階作業では、ダイレクトメールの封緘が得意です。たくさん作業があるときは、疲れることもありますが、皆と一緒に働けることが楽しいです。

これからも自分のできる仕事を一つずつ丁寧に頑張りたいと思います。



みんなと一緒に楽しく作業頑張ります♪



今日の終わりに至福の一杯！

僕は夕方の余暇時間にコーヒーを飲むことがとても楽しみです。コーヒーを美味しく飲むには、就労ホームでお仕事を一生懸命行い、グループホームで洗濯などの日課を終わらせた後の一杯が最高です。今年も美味しいコーヒーを飲むために、健康に気を付けて元気に過ごしていきたいと思います。よく食べて、よく寝るように心がけて生活できるように頑張ります。

※※
グループホーム
仕事の後のコーヒー
が楽しみです
葭岡 慎太郎



自分の出来ることを精一杯頑張りたいです！

ホームの休日は毎週水曜日の定休日と他に二日休みを頂けます。最近ほとんど母親の病院への付き添いのために休暇を充てています。家ではヘルパーは頼まないの食事の用意、洗濯ごみ出しなど家事を手伝います。腰痛の母の為に週に二度ほどマッサージもします。母が安心して健康で毎日過ごせるように自分で出来ることを精一杯して寄って行こうと思っています。

※※
マッサージホーム
母のために
頑張ります
関口 美和



光の家全員でお別れをしました

今年六月二十六日に逝去された相澤忠一先生のお別れの会が東京光の家講堂で行われました。相澤先生は理事、評議員、顧問として長年にわたり、東京光の家を支えて頂きました。告別式は近親者のみで既に取り行われていました。お別れの会では、利用者が全員献花を行うなど、光の家全体でお別れをすることが出来ました。

故 相澤忠一先生
お別れの会
日時…令和五年十一月七日(火)
場所…東京光の家講堂

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。



浅石 常勝様	米	二六kg
佐藤 恵様	リング	二六個
不織布マルチカバー	一〇ケース	二四〇本
不織布ガーゼ	四〇個	二四〇本
東京善意銀行様	ハンドスプレーセット	一〇ケース
井川 幸雄様	リンゴ	一八〇玉
鈴木 京子様	さつまいも	八kg
阿久津 隆様	柿	七〇個
坂本 武様	かぼす	七一個
	みかん	九kg
小園 江春江様	さつまいも	五七kg

寄付者名簿

令和五年十月二日

令和五年十二月一日



式典冒頭で国歌独唱をする高橋正秋さん

日野市は今年市制施行六〇周年を迎え記念式典を行いました。光バンドは令和三年に日野市より文化事業功労賞を頂き昨年度は式典で演奏をさせて頂きました。今年は、昨年に引き続き演奏させて頂き、また今年は、式典の冒頭の国歌・市歌の演奏の依頼もありました。

今年度は新生園の長島由奈さんと栄光園の小沼京子さんが、「燃ゆる感動かごしま大会」に出場しました。大会中は季節外れの暑さになりましたが、長島さんは四〇〇m走で金、一〇〇m走で銀。小沼さんは立ち幅跳びで金、砲丸投げで銀メダルを獲得しました。それぞれ二つのメダルを持ち帰ることができました。おめでとうございます。



日野市市制施行 60 周年記念式典で演奏する光バンド

光バンド演奏活動 日野市市制施行60周年記念式典

令和五年十一月三日（金）文化の日
於…ひの煉瓦ホール

全国障害者スポーツ大会

開催地…鹿児島
期間…十月二十八日（土）～十月三十日（月）



全国大会で金・銀メダルを取りました!!

光の家では今年も近隣自治体や企業との災害時の防災連携を再確認・強化するために、合同防災訓練を行いました。回を重ねるにつれ、避難の際の光の家の職員と近隣自治会の方々や応援協定先企業様の皆様との連携も円滑になり、とても良い訓練となりました。

地域との 合同防災訓練

令和五年十月三十一日（火）



光の家自衛消防隊の迫真の実演

発行 東京光の家
〒一九一〇〇六五
東京都日野市旭が丘一七
社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二（五八二）二三四〇
FAX 〇四二（五八二）九五六八